

# 事業報告

(令和6年2月 1日から  
令和7年1月 31日まで)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

2024 シーズンは、「緊禪一番」のスローガンのもと、今一度クラブ全体が気を引き締め、J1 昇格を成し遂げるという強い覚悟を持ち、更には、昨年素晴らしい戦いを繰り広げて勝ち取った ACL 決勝リーグを勝ち抜くため、強力なストライカーの補強と守備の立て直しを課題に新シーズンがスタートしました。

Jリーグで実績を持つ強力なストライカーの補強に成功し、リーグ戦開幕を前に戦った ACL は、韓国の強豪、蔚山を相手に一定の成果はあったものの敗戦し、結果的にはアジアの高い壁を痛感することになりました。しかし、J2 勢として参戦した異例のアジアへの挑戦は、多くの県民や全国のサッカーファンも巻き込み、クラブ、日本サッカーの歴史に確かな爪痕を残すものであったと感じております。

その後、間もなくして開始したリーグ戦は、8年ぶりの開幕戦勝利と連勝で勢いに乗るかと思われましたが、守備の要でもある、ゴールキーパー、ディフェンダーに負傷者が相次ぎ、次第に順位を落とす苦しい状況に陥りました。リーグ中盤以降は昇格プレーオフを目指すどころか、J3 降格回避を意識して戦う苦しい状況となる場面もあり、最終的には12勝9分17敗 14位という非常に厳しい結果でリーグを終えることになりました。得点においては、全チーム中6番目に多い54得点となり、攻撃では一定の結果を出したものの、失点は全チーム中5番目に多い57失点と、まさに課題であった守備の立て直しを含めて、数々の障害を乗り越えることが出来なかったことが、そのままリーグ戦の順位に反映される厳しい結果となりました。

この他、天皇杯においてはラウンド16で敗退、ルヴァンカップは準々決勝敗退と、善戦しても勝ちきれない試合が多く、リーグ戦の課題も含め、今シーズンは攻守以外におけるチームマネジメントの重要性を改めて痛感させられる1年でもありました。

リーグ戦のホームゲームにつきましては、総入場者数19試合157,211人(昨年21試合157,184人)昨年比+27人、また平均入場者数は、8,274人(昨年7,485人)昨年比+789人となり、J2のチーム数減によりホームゲームが2試合減ったものの、平均入場者数が増加し、総入場者数においても昨シーズンを上回る結果となりました。

またシーズンシート・ファンクラブ会員につきましては、シーズンシート会員口数が4,799口(昨年4,437口)昨年比+362口、ファンクラブ会員口数が7,145口(昨年6,034口)昨年比+1,111口とリーグ戦に苦しむ中でも、ゴールデンウィークや夏休みにおける注力試合の積極的な集客施策とプロモーションにより着実にホームゲーム入

場者数及び会員数を伸ばしました。

アカデミーに関しましては、U-18 のクラブユース選手権全国大会出場、U-12 の全日本 U-12 サッカー選手権決勝大会出場などの成績を残しました。2025 シーズンは、ユースより保坂知希選手、山梨学院大学よりジュニアユース時代を甲府で過ごした一瀬大寿選手がトップチームに加入することになりました。地域密着型のクラブとしては、当クラブの下部組織で育った選手と県内出身の選手発掘は、重要な戦略の一つと考えており、引き続き山梨から 1 人でも多くのプロサッカー選手を輩出できるよう努力を重ねてまいります。

地域貢献活動に関しては、一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブと連携して、環境・健康・教育・国際交流を中心とした地域連携活動に注力し、引き続き様々な活動に挑戦してまいります。また、昨年 12 月「山梨県立やまなしパラスportsセンター」の指定管理者として指定を受けたことにより、2025 年からは、スポーツを通して、障がい者の生きがい創出と社会参加の促進を図り、山梨県のより良い共生社会の実現を目指す活動を始めてまいります。クラブはこのような活動を通して、山梨県並びに各地域との間で「BEYOND FOOTBALL CLUB」フットボールクラブを超えた存在になることを理念に掲げて引き続き活動してまいります。

経営面においては、昨年の営業収入から、大幅に減収することが当初から予想されていたうえ、物価高騰・円安などによる多くの費用増加なども含め、慎重な経営が試される一年となりました。ACL 参戦などにより 20 億を超えた昨年の営業収入と比べると当然減収はしたものの、平均入場者数と各種会員数、広告料収入やグッズ収入、更には、選手の移籍金収入などが当初予測を上回る結果となったことから、営業収入が 17 億 4 千 8 百 41 万円、営業利益が 148 万円、経常利益が 786 万円、当期純利益が 262 万円となり、当初予測した以上に、安定した収支で着地することができました。

来期は、甲府サッカークラブ誕生から 60 年、チームがヴァンフォーレ甲府に改称してから 30 年の節目の年でもあります。経済情勢や、迫るシーズン移行など、クラブを取り巻く環境が目まぐるしく変化する中でも、計画的な経営を継続しつつ、節目の年に J1 昇格が果たせるように、チーム・フロント全員が「ソコヂカラ」を発揮し最大限の努力をしてまいります。

## 経営状況の推移

(株) ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

令和7年1月

### 損益計算書

(単位：円)

科目	令和元年 2019年(J2)	令和2年 2020年(J2)	令和3年 2021年(J2)	令和4年 2022年(J2)	令和5年 2023年(J2)	令和6年 2024年(J2)
<b>営業収入</b>	<b>1,454,917,359</b>	<b>1,228,880,631</b>	<b>1,291,863,131</b>	<b>1,563,953,767</b>	<b>2,040,349,811</b>	<b>1,748,414,086</b>
入場料	90,004,086	42,872,602	44,042,850	52,685,844	197,081,649	164,452,278
広告料	799,610,444	724,982,475	717,627,727	748,565,634	851,044,015	779,744,143
シーズンシート・ヴァンクラブ	195,749,862	66,590,306	153,028,234	156,074,261	170,111,321	182,970,128
J配分金ほか	165,447,151	172,667,696	185,225,932	187,103,577	246,935,755	137,123,618
その他収益	204,105,816	221,767,552	191,938,388	419,524,451	575,177,071	484,123,919
<b>営業費用</b>	<b>1,460,252,199</b>	<b>1,278,016,746</b>	<b>1,227,456,828</b>	<b>1,527,818,926</b>	<b>2,039,692,909</b>	<b>1,746,931,923</b>
チーム関係費	903,867,321	781,626,966	652,472,887	917,657,134	1,119,271,556	947,654,552
試合運営費	104,123,720	74,681,276	107,018,500	104,529,943	212,076,527	163,942,740
クラブ運営費	452,261,158	421,708,504	467,965,441	505,631,849	708,344,826	635,334,631
<b>営業利益</b>	<b>-5,334,840</b>	<b>-49,136,115</b>	<b>64,406,303</b>	<b>36,134,841</b>	<b>656,902</b>	<b>1,482,163</b>
営業外利益	10,151,759	31,726,110	25,633,623	24,284,611	18,098,966	12,032,688
営業外費用	7,473,941	4,581,627	6,063,593	5,887,354	5,771,451	5,651,889
<b>経常利益</b>	<b>-2,657,022</b>	<b>-21,991,632</b>	<b>83,976,333</b>	<b>54,532,098</b>	<b>12,984,417</b>	<b>7,862,962</b>
特別利益	0	0	0	45,099	0	63,635
特別損失	1	0	0	13,622,316	0	3
税引前当期純利益	-2,657,023	-21,991,632	83,976,333	40,954,881	12,984,417	7,926,594
法人税及び住民税	297,255	297,203	16,751,239	14,669,140	4,766,307	5,306,434
法人税等調整額	1,655,826	30,378,337	0	0	0	0
<b>当期利益</b>	<b>-4,610,104</b>	<b>-52,667,172</b>	<b>67,225,094</b>	<b>26,285,741</b>	<b>8,218,110</b>	<b>2,620,160</b>
過年度税効果調整額	0	0	0	0	0	0
<b>繰越損益</b>	<b>-101,442,162</b>	<b>-154,109,334</b>	<b>-86,884,240</b>	<b>-60,598,499</b>	<b>-52,380,389</b>	<b>-49,760,229</b>

## 2024 シーズン目標達成状況

目標値 実績値  
※ ( ) 内は2023シーズン実績

○ シーズンシート会員数	5,000 □ (4,437□)	4,799 □
○ ヴァンクラブ (公式ファンクラブ) 会員数	6,500 □ (6,034□)	7,145 □
○ 平均観客動員数	8,500 人 (7,485人)	8,274 人
○ 広告料収入	8億 円 (8億5,100万円)	7億8,000万円

2024 明治安田 J2リーグ 順位表

J2リーグ第節終了時点

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	ホーム			アウェイ		
										勝	分	敗	勝	分	敗
1	清水エスパルス	82	38	26	4	8	68	38	30	15	3	1	11	1	7
2	横浜FC	76	38	22	10	6	60	27	33	12	5	2	10	5	4
3	V・ファーレン長崎	75	38	21	12	5	74	39	35	12	4	3	9	8	2
4	モンテディオ山形	66	38	20	6	12	55	36	19	10	3	6	10	3	6
5	ファジアーノ岡山	65	38	17	14	7	48	29	19	11	4	4	6	10	3
6	ベガルタ仙台	64	38	18	10	10	50	44	6	10	4	5	8	6	5
7	ジェフユナイテッド千葉	61	38	19	4	15	67	48	19	12	1	6	7	3	9
8	徳島ヴォルティス	55	38	16	7	15	42	44	-2	7	3	9	9	4	6
9	いわきFC	54	38	15	9	14	53	41	12	6	5	8	9	4	6
10	ブラウブリッツ秋田	54	38	15	9	14	36	35	1	8	6	5	7	3	9
11	レノファ山口FC	53	38	15	8	15	43	44	-1	9	2	8	6	6	7
12	ロアッソ熊本	46	38	13	7	18	53	62	-9	4	5	10	9	2	8
13	藤枝MYFC	46	38	14	4	20	38	57	-19	7	4	8	7	0	12
14	ヴァンフォーレ甲府	45	38	12	9	17	54	57	-3	5	4	10	7	5	7
15	水戸ホーリーホック	44	38	11	11	16	39	51	-12	5	8	6	6	3	10
16	大分トリニータ	43	38	10	13	15	33	47	-14	4	8	7	6	5	8
17	愛媛FC	40	38	10	10	18	41	69	-28	6	5	8	4	5	10
18	栃木SC	34	38	7	13	18	33	57	-24	4	7	8	3	6	10
19	鹿児島ユナイテッドFC	30	38	7	9	22	35	59	-24	7	3	9	0	6	13
20	ザスパ群馬	18	38	3	9	26	24	62	-38	1	5	13	2	4	13

2024 明治安田生J2リーグ 観客動員順位表

J2リーグ第節終了時点

順位	チーム	ホーム数	平均(人)	合計(人)
1	清水エスパルス	19	17,750	337,247
2	ベガルタ仙台	19	13,331	253,286
3	ジェフユナイテッド千葉	19	10,431	198,184
4	大分トリニータ	19	10,360	196,848
5	モンテディオ山形	19	10,265	195,031
6	V・ファーレン長崎	19	9,814	186,462
7	ファジアーノ岡山	19	9,188	174,572
8	ヴァンフォーレ甲府	19	8,274	157,211
9	横浜FC	19	6,963	132,294
10	鹿児島ユナイテッドFC	19	6,596	125,324
11	栃木SC	19	6,238	118,529
12	ロアッソ熊本	19	6,177	117,356
13	レノファ山口FC	19	6,089	115,696
14	徳島ヴォルティス	19	6,054	115,031
15	愛媛FC	19	4,721	89,700
16	水戸ホーリーホック	19	4,406	83,717
17	いわきFC	19	4,290	81,516
18	藤枝MYFC	19	4,274	81,210
19	ブラウブリッツ秋田	19	4,128	78,426
20	ザスパ群馬	19	3,988	75,775



シーズンシート・ヴァンクラブ会員数

2024シーズンシート会員	4,799口
2024ヴァンクラブ会員	7,145口
2023シーズンシート会員	4,437口
2023ヴァンクラブ会員	6,034口

2024JリーグYBCルヴァンカップ			
準々決勝	9月4日	川崎フロンターレ	●0-1
準々決勝	9月8日	川崎フロンターレ	△1-1
AFCチャンピオンズリーグ ノックアウトステージ			
ラウンド16	2月15日	蔚山現代	●0-3
ラウンド16	2月21日	蔚山現代	●1-2
第103回天皇杯 全日本サッカー選手権大会			
2回戦	6月12日	Honda FC	○2-0
3回戦	7月10日	セレッソ大阪	○2-1
ラウンド16	8月21日	鹿島アントラーズ	●1-2

## 選手、スタッフ、フロント業務一覧

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
イベント参加 (選手、スタッフ、マスコット)	137回	81回	44回	48回	72回	64回
サッカー教室	159回	98回	128回	62回	203回	376回
学校訪問	8回	2回	2回	5回	7回	29回
介護予防事業	121回	100回	153回	191回	200回	173回
講演会/講習会/講話	33回	21回	20回	29回	20回	18回
クラブ直轄行事	133回	101回	81回	133回	100回	155回
職場体験/インターンシップ (受入人数)	28回	6回	3回	4回	10回	15回
総合計	619回	409回	431回	472回	612回	830回

## 2025シーズン目標

○ シーズンシート会員数

5,000 □ (前年度実績 4,799 □)

○ ヴァンクラブ (公式ファンクラブ) 会員数

7,500 □ (前年度実績 7,145 □)

○ 平均観客動員数

8,500 人 (前年度実績 8,274 人)

○ 広告料収入

8億 円 (前年度実績 7億8,000万円)